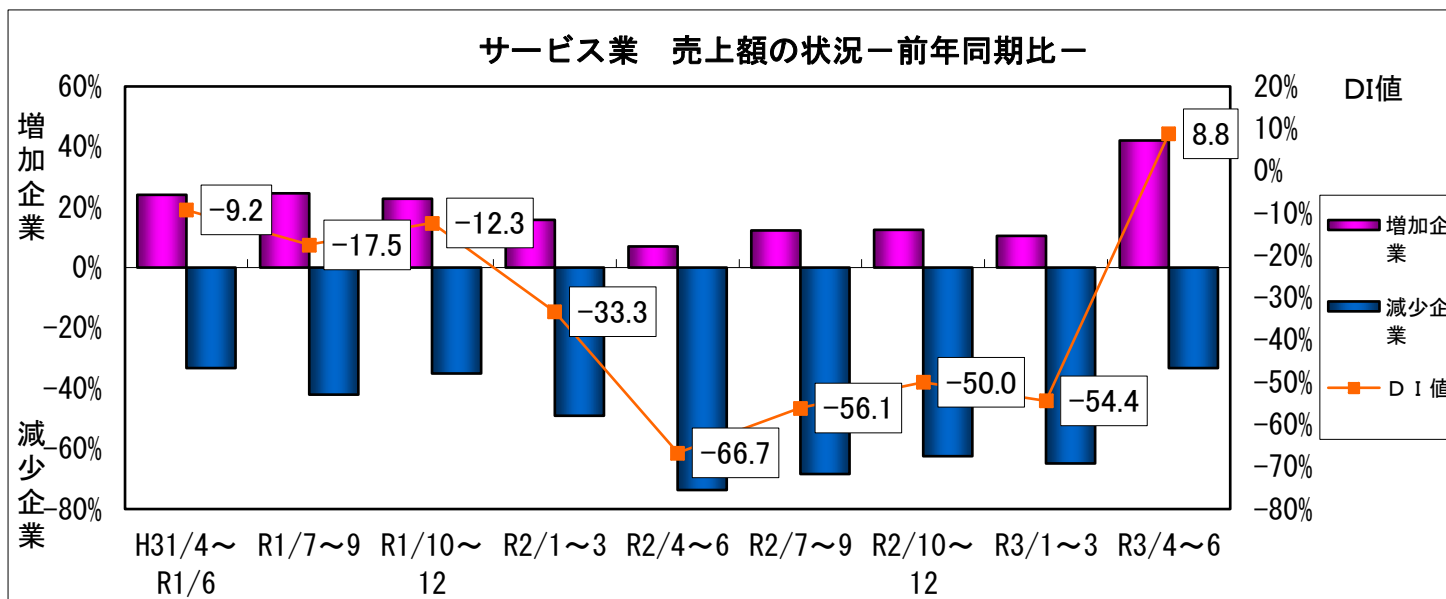


(2) 主要項目の概況

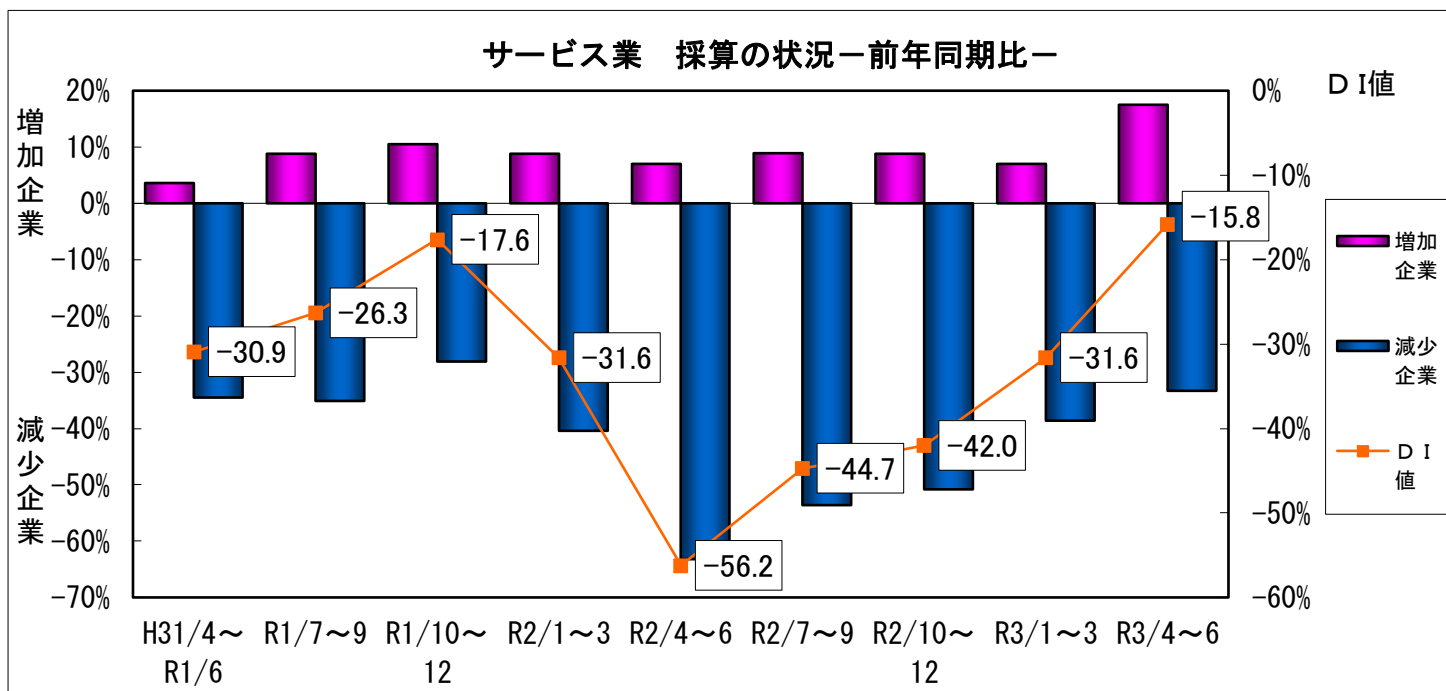
①売上（収入）額（前年同期比）

今期の売上（収入）額D I 値は、8.8。前期の▲54.4から63.2ポイントと大幅に上昇した。来期の見通しは、▲10.5と低下予想である。



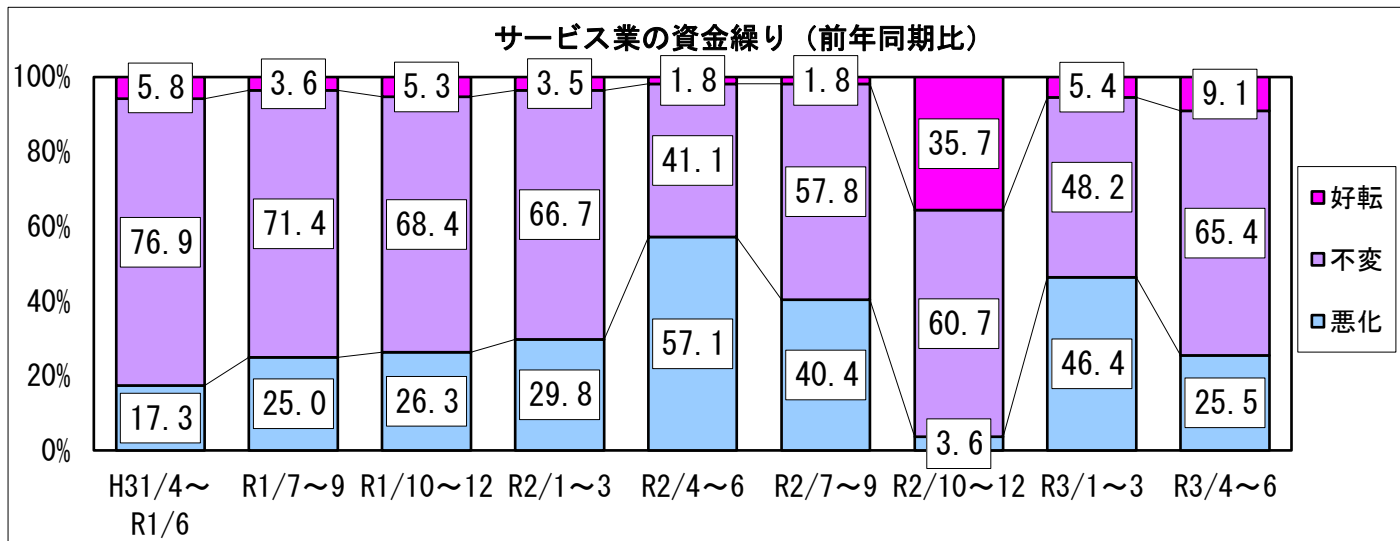
②採算（前年同期比）

今期の採算D I 値は、▲15.8。前期の▲31.6より15.8ポイント上昇した。来期の見通しは、▲19.3と低下予想である。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、▲16.4。前期の▲41.0から24.6ポイント上昇した。来期の見通しは▲14.5とさらに改善が予想される。

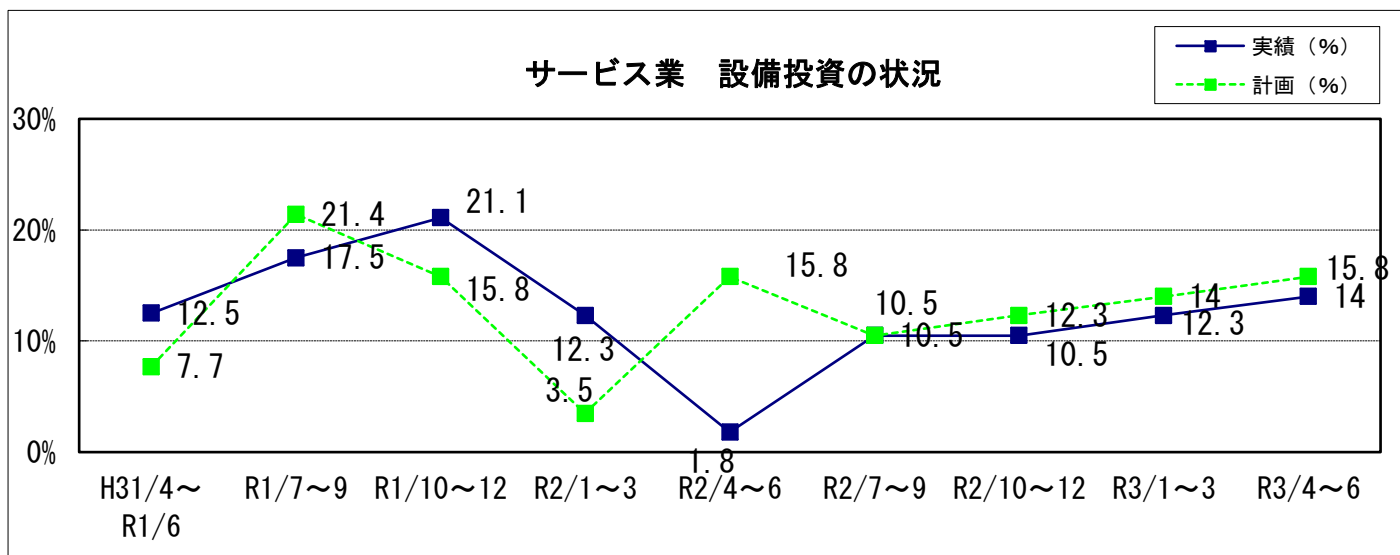


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	サービス	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	7	1	2	3	4	0	0	0	0	50
(%)	12.3	14.3	28.6	42.9	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	87.7
今期実施 (実数)	8	0	2	6	0	1	2	1	0	49
(%)	14.0	0.0	25.0	75.0	0.0	12.5	25.0	12.5	0.0	86.0
来期計画 (実数)	9	0	3	6	2	1	2	1	0	48
(%)	15.8	0.0	33.3	66.7	22.2	11.1	22.2	11.1	0.0	84.2

今期設備投資を実施した企業は8社(14.0%)。前期(令和3年1月~3月期)実施企業7社(12.3%)から1社増。来期は9社(15.8%)が設備投資を計画している。

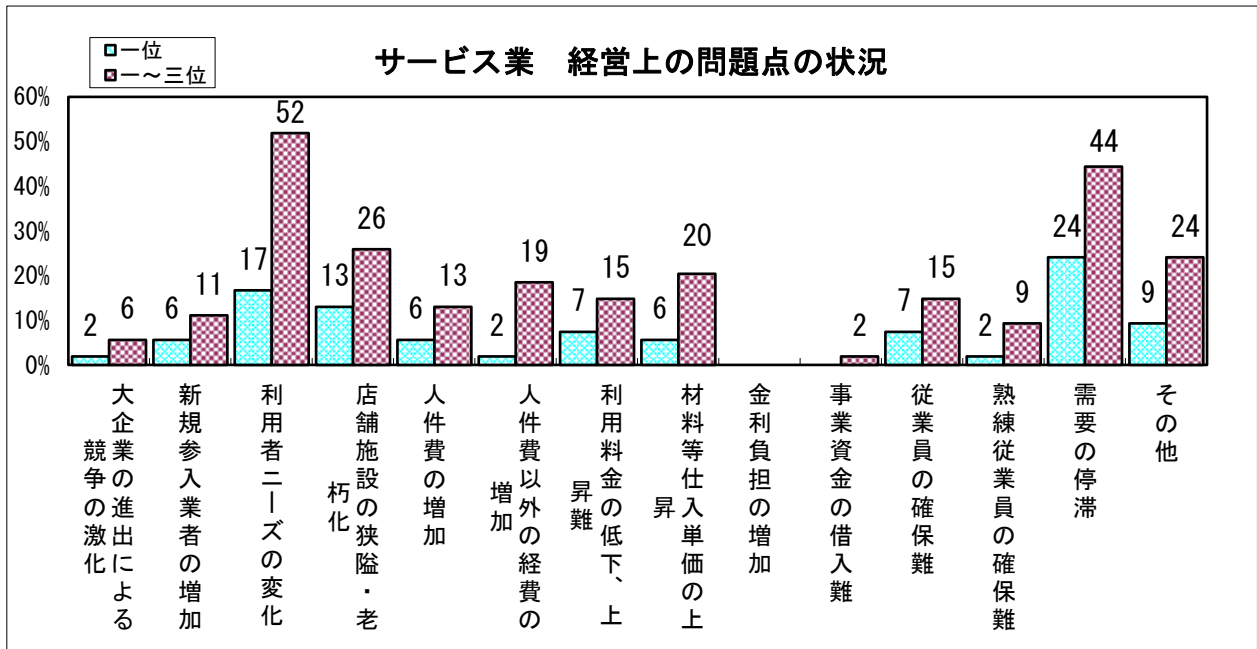


⑤経営上の問題点

今期、サービス業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、

- ・ 「利用者ニーズの変化」 (前期 34.6%→今期 51.9%)
- ・ 「需要の停滞」 (前期 55.8%→今期 44.4%)
- ・ 「店舗施設の狭隘・老朽化」 (前期 21.2%→今期 25.9%)

となっている。



以上